

放射能分析値の信頼性を確保

－放射能分析の精度管理に役立つ取組み－

成果の特徴

- ・放射能分析の内部精度管理に役立つ認証標準物質を開発しました。
- ・放射能分析の外部精度管理に役立つ技能試験を開催し、参加機関の技能レベルが概ね妥当であることを明らかにしました。

放射性セシウムを含む玄米の認証標準物質」の提供



放射性セシウムを含む**玄米の認証標準物質を開発**しました。
現在、濃度の異なる2種類の**認証標準物質を頒布**しています。
この認証標準物質を測定することで、

自ら測定の妥当性が確認（内部精度管理）できます。

購入のお問合せ：NMII 認証標準物質 <https://unit.aist.go.jp/qualmanmet/refmate/>

放射性セシウム分析を対象とした技能試験（外部精度管理）の提供

令和2年度に放射性セシウムを含む玄米試料を用いた技能試験を開催します。

技能試験には、**認証標準物質と同等の玄米試料を使用**します。

放射能値の決定に加え、**不確かさの算出も含めた技能向上**を目的としています。



成果の活用

この認証標準物質は、地方自治体、民間の検査機関、測定器開発メーカー、大学等の研究機関において広く利用されています。

認証標準物質に関しては産業技術総合研究所との共同研究、技能試験に関しては産業技術総合研究所とセイコー・イージーアンドジー(株)との共同研究の成果です。

- 参考文献 三浦ら、RADIOISOTOPES, 65, pp.157-167 (2016)
八戸ら、RADIOISOTOPES, 65, pp.169-180 (2016)
海野ら、RADIOISOTOPES, 65, pp.181-190 (2016)